

屋内試験場  
使用者手引き  
(第3版)

福島ロボットテストフィールド  
令和 4年 7月 27日

## 改訂履歴

版	施行日	内容	作成
1	令和 3年 4月 1日	新規作成	技術課 課長代理 濱野 漂太郎
2	令和 3年 5月 1日	無人航空機等の運用の際、GPSのマルチパスや鉄骨等による磁気干渉に注意する必要がある旨を追記	技術企画課 担当 中村 泰拓
3	令和 4年 7月 27日	新フォーマットへの切り替え 記載内容追記	技術課 副主任 三枝 芳行

# 目 次

1. 施設概要 .....	1
1.1 基本情報 .....	1
1.2 設置位置 .....	3
1.3 写真 .....	3
1.4 使用事例 .....	5
2 施設・設備詳細 .....	5
2.1 屋内試験場の室内高さ .....	5
2.2 屋内試験場床面耐荷重 .....	5
2.3 図面 .....	6
3 注意事項 .....	7
4 その他 .....	7

## 1.施設概要

### 1.1 基本情報

基本情報のリストを示す。

名称	屋内試験場
エリア	開発基盤エリア（南相馬）
メーカー名	-
メーカー型番	-
導入年	2019年
仕様	
主要諸元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 32m×30m×有効高さ10m</li> <li>・ 床コンクリートの上厚膜型エポキシ樹脂系塗床材</li> <li>・ 南側搬入口W7m×H4.1m</li> <li>・ 東側搬入口W4.1m×H4.1m</li> </ul>
飛行可能エリア	・ 32m×30m×11m（屋内）
施設に含まれる設備、機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天井クレーン2t</li> <li>★耐圧試験装置(使用料別途)</li> <li>★映像記録システム(使用料別途)</li> <li>★屋外大型モニタシステム(使用料別途)</li> <li>★3Dモーションキャプチャー(使用料別途)</li> <li>★ハイスピードカメラ(使用料別途)</li> <li>★被災者模擬装置(使用料別途)</li> <li>★発煙模擬装置(使用料別途)</li> </ul>
保存データの形式・アウトプット	-
事前に用意いただく必要のあるもの	ヘルメット
使用に必要な免許・資格	天井クレーン使用：クレーン、玉掛作業の資格
利用上の注意	-
貸出単位	半面、全体
貸出可能な数	1面(半面または全面)

## 基本情報（続き）

使用料金	
1時間につき（昼間）	-
1月につき	-
全日	-
午前・午後	（全面使用） ¥50,300
1時間につき（夜間）	-
夜間	（全面使用） ¥60,400
超過（1時間につき）	（全面使用） ¥16,400
問合せ先	福島ロボットテストフィールド 技術課 TEL0244-25-2476

### 備考

(1) 使用単位の「午前」、「午後」、「夜間」、「全日」、「超過時間」は次のとおりです。

◎午前：9時～13時

◎午後：13時～17時

◎夜間：17時～21時

◎全日：0時～24時

◎超過時間：0時～9時まで及び21時～24時までの間の1時間

(2) 次のいずれかに該当する場合には、使用料と同額を加算します。

①営利の目的で入場料、受講料、会費等を徴収して行事を開催するとき

②商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為のために使用するとき

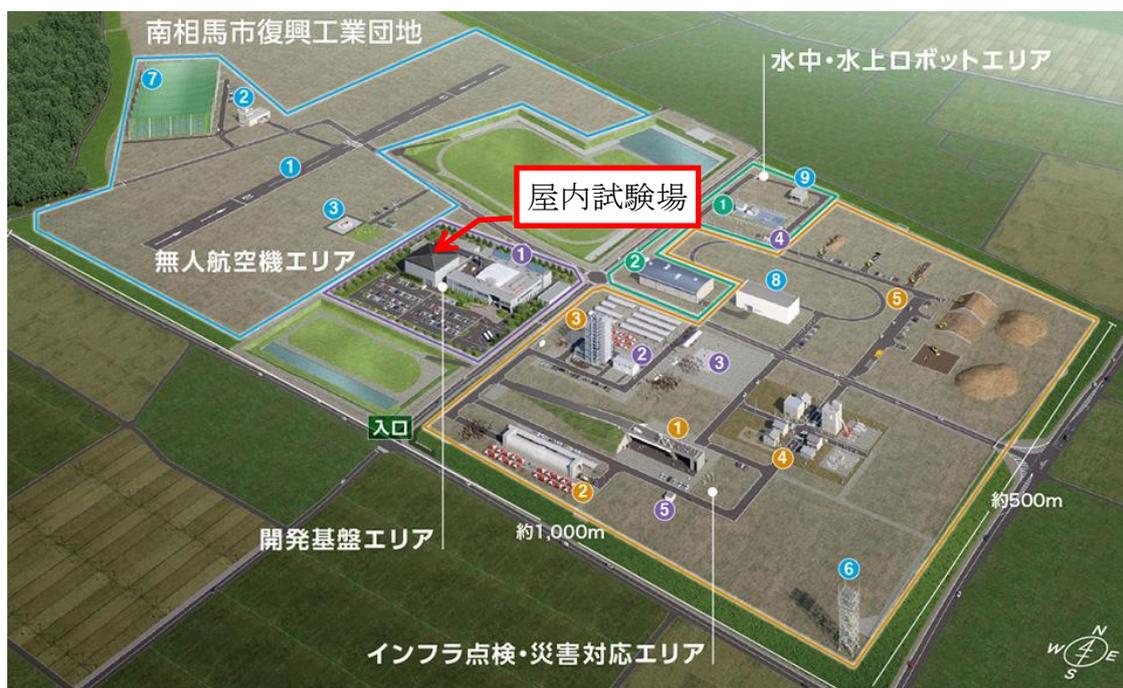
(3) 準備のために使用する場合には、使用料を70%に減額します。

(4) 日をまたいで2日以上継続使用する際、展示物や器材等の保管のためであれば、夜間～早朝の使用料は徴収しません。

(5) 施設に含まれる設備、機器において（★）マークのついたものは、使用時に別途費用が発生します。詳細は対応する使用者手引きを参照ください。

## 1.2 設置位置

### 屋内試験場



屋内試験場設置位置

## 1.3 写真



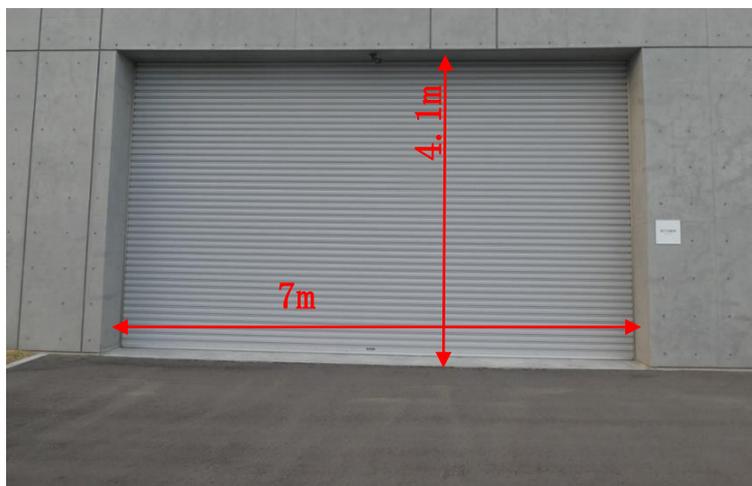
屋内試験場外観



西側出入口 および シャッター



東側出入口



南側シャッター



天井クレーン(2t)



周回歩廊

備え付け備品(耐圧試験装置と併用)

作業机×2、椅子×2、消火器×4、消火栓×4、コーン×10

※他の会議室から机や椅子、ホワイトボードなどの貸し出し可能です。

#### 1.4 使用事例

- (1) 小型無人航空機操縦訓練
- (2) イベント・展示会会場
- (3) 大型機のホバリングテスト

## 2 施設・設備詳細

### 2.1 屋内試験場の室内高さ

床上 10mの位置に天井クレーンがあるので、10m以上の構造物は天井クレーンと干渉します。天井クレーンの上には、屋根を支えるための梁があるため、梁の隙間を安全に通すことができるなら屋根の高さ 14m限界までの構造物を建てることは可能ですが、構造物の設置・撤去時の作業性が悪い上に梁及び天井クレーンを破損する恐れがあるため、有効高さの 10m未満でご使用ください。

### 2.2 屋内試験場床面耐荷重

1階床：21000N/m<sup>2</sup>

周回歩廊：1800N/m<sup>2</sup>

## 2.3 図面

### (1) 1階平面図

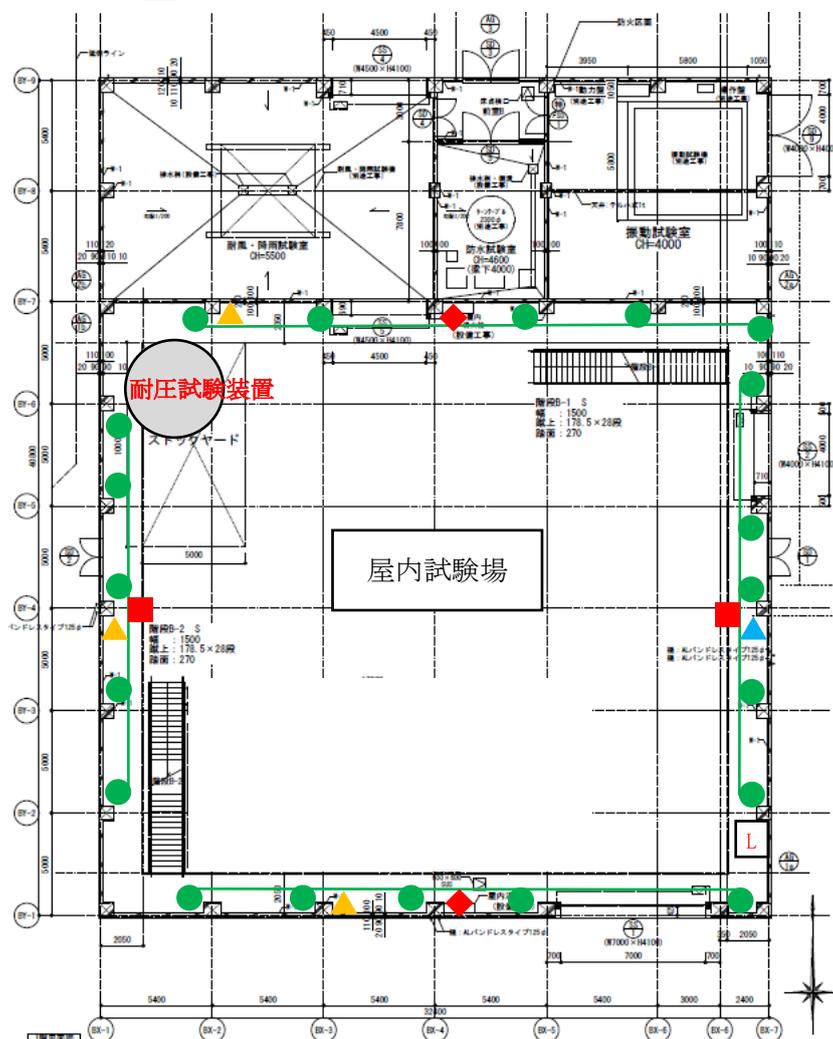
● : ○K1~4 単相 100V20A 系統

▲ : ◎K6~8 系統 単相 200V30A、 ▲ : ◎K5 系統 単相 200V50A

□L : LAN接続口

■ : 消火器

◆ : 消火栓



### 200V コンセント形状



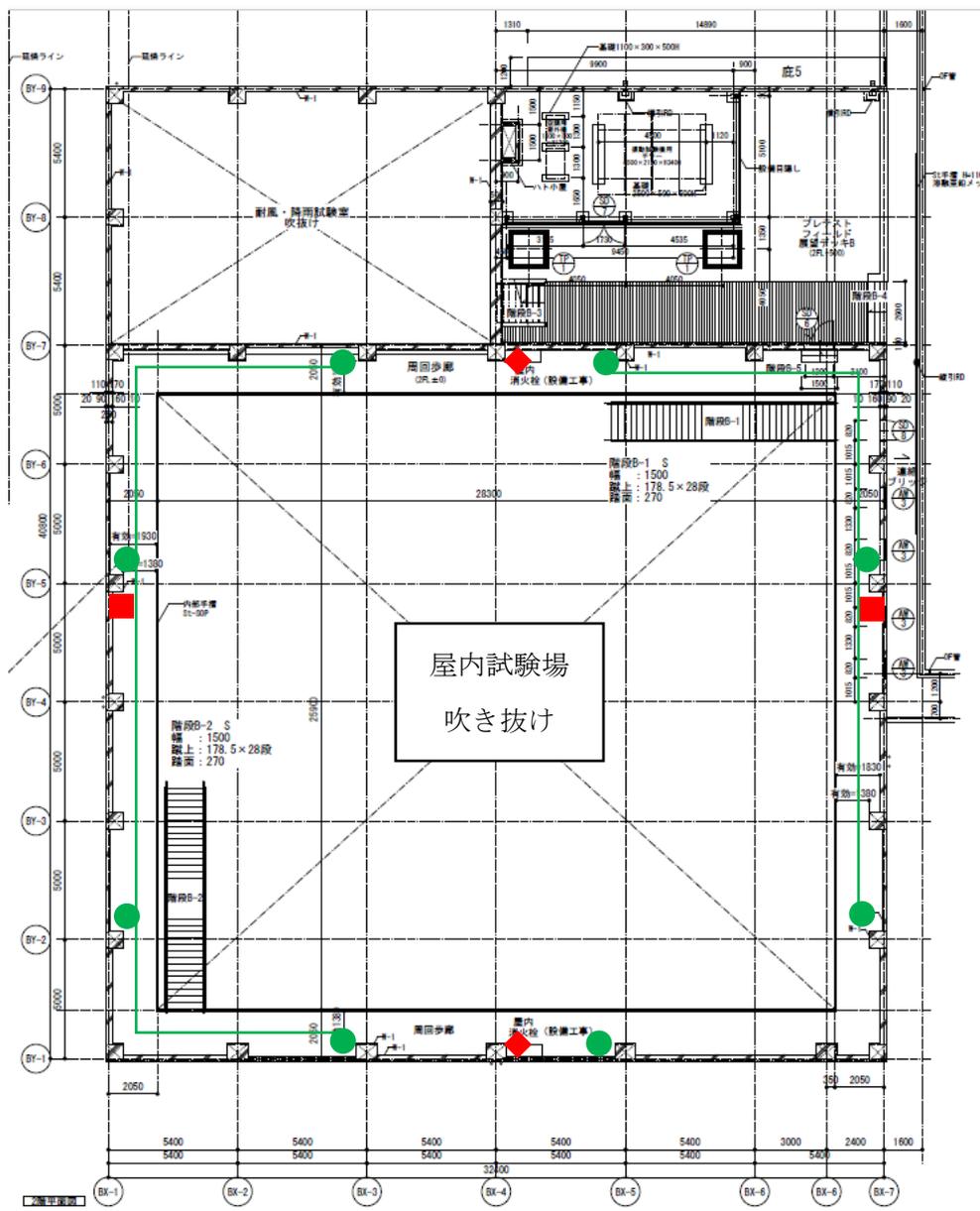
◎K6~8



◎K5

(2) 2階平面図

● : OK6~7、⑥ 単相 100V20A 系統      ■ : 消火器      ◆ : 消火栓



3 注意事項

- (1) 天井クレーン操作、玉掛作業は有資格者のみ実施すること。
- (2) 使用内容により、ヘルメット・ゴーグル等防護具を装着すること。
- (3) 施設内ではGPS信号のマルチパスや鉄骨等による磁気干渉の恐れがあるため、無人航空機等を運用する際はこれに十分注意すること。

4 その他

- (1) 使用期間中に休館日(土日祝日)を挟む場合、休館日中は施設のご利用はできませんが無償で荷物などを置いておくことは可能です。

以上